

## 「総務大臣とのくるまぎ対話 in 島根」議事概要

1 日 時 平成19年9月29日(土) 13:00~15:00

2 場 所 島根県中山間地域研究センター

3 出席者

【地元出席者】	いし	ばし	りょう	じ	おおなん
	石	橋	良	治	邑南町長
	いわ	た	いち	ろう	おくいずも
	岩	田	一	郎	奥出雲町長
	か	がわ	しょう	じ	有限会社だんだんファーム掛合代表取締役
	香	川	昇	司	
	たけ	だ	ひろ	し	隠岐広域連合立隠岐病院院長
	武	田	博	士	
	た	なか	ます	じ	ごうつ
	田	中	増	次	江津市長
	み	しま	あき	お	島根県農業協同組合中央会会長
	三	嶋	章	生	
	やま	さき	ひで	き	いなん
	山	碕	英	樹	飯南町長

【総務省】	ます	だ	ひろ	や	総務大臣
	増	田	寛	也	
	おか	さき	ひろ	み	大臣官房総括審議官
	岡	崎	浩	巳	

4 懇談会次第

(1) あいさつ

① 増田寛也 総務大臣

② 山碕英樹 飯南町長

(2) 意見交換

<テーマ>

- ・地域の活性化方策について
- ・地方行財政・地域経済の諸課題について

5 懇談会要旨 [主な意見]

①地元出席者

- ・道路整備、高速道路を始めとするネットワークを早期に整備していただきたい。また情報インフラも、光ファイバーが未整備であるため、企業誘致が難しい。
- ・行財政改革については、絞るところは絞ってこれ以上ないぐらい県内でもトップクラスで頑張っている。そのような点も配慮してほしい。

- ・ F T T H事業の推進は都市と地方との格差の是正という面では大きな効果がある。未整備の市町村の情報基盤の整備を進めていただきたい。
- ・企業誘致を積極的に進めているが、企業は何らかの優遇策がないかと期待している。企業の負担軽減を図るため、工場用地を町が過疎債等で取得し、貸与することで企業誘致ができるのではないかと考えている。
- ・小規模農家でも女性や高齢者等がよく頑張っており、これをどう支援していくかが課題である。
- ・中山間地域等においては、農業という視点だけでは担い手や農地の問題は解決困難であり、医療や教育も含めて、より総合的な視点からの省庁横断的な対策を打ち出していきたい。
- ・急速に拡大している耕作放棄地と有害鳥獣対策が課題。
- ・最近の原油高、資材高により、5年経過しても黒字化しない。今後は、自分らの生産物は、自分達で値段を付けることにより資金を確保していく取組が必要である。
- ・企業は、高速道路や情報インフラの利用環境は当然のこと、人材、医療、福祉、教育等についても、整備されているかについて高い関心を持っている。
- ・情報基盤等の整備を進めるには、行政としても、起債だとかいろいろ財源を活用して、財政出動しなければならないが、厳しい財政状況からそれもできず、二律背反（トレードオフ）になっている。その結果、地方は逆にどんどん悪い方に入っていくというような感じもしており、それが格差につながっているのではないか。
- ・人口を維持するためには、若者の働き場をいかにつくっていくかということが今、非常に大切である。そのため、①農業の再生、②既存の企業の拡充、③新しい産業の創出の3つが重要である。
- ・合併特例債については、今後はあまりハード整備の需要はないと思われるので、ハード充当分を活用して、まちづくり基金（ソフト事業）の枠を拡大していただき、持続的に安定した財政運営が可能なように配慮をお願いしたい。
- ・地場企業を起こしていくためには、民間企業に対して町として支援したいと考えている。については、営利企業といっても、雇用の確保などの公共的な面を担っているので、過疎債や合併特例債を活用できるようにして欲しい。
- ・地方の若者を呼び込むための、人材育成や就業体験に対する支援をお願いしたい。
- ・携帯電話の不感地域の解消をお願いしたい。
- ・ポスト過疎法の検討においては、従来のハード事業中心から、ソフト事業中心という流れにおいて、集落の支援や地域交通といった取組にソフト事業で支援願いたい。
- ・J Rの撤退後、町営バスの運行等に1億2,000万円かかっているが、国の補助基準に該当しないため、運賃収入や県の交付金、交付税措置分を除いた4,500万円程度を町が負担しており、これら地域交通への支援をお願いしたい。
- ・公立邑智病院は、救急指定病院であるが、医師が不足しており十分な医療が提供で

きていない。医師不足についても大きな問題である。

- ・ 離島の医療の自己完結率を高めることが必要であり、現在250人の職員でもっと質の高い医療が提供できるという考えのもとに努力している。
- ・ 島根（本土）の中核病院との連携を深め、医療関係者の資質向上に努めている。また、地域医療においては、医師は、専門性にとられない幅広い臨床力を持つ者を評価する取組が必要である。
- ・ 合併により、一部過疎の市になったが、過疎地域と非過疎地域で逆転現象が起きている。過疎地域は、過疎債が使えるので情報基盤の整備が進んでいるものの、非過疎地域は、過疎債が使えず、整備が進んでいないため、じくじたる思いをしている。新過疎法では、そのあたりを配慮願いたい。
- ・ 財政健全化法の動向は非常に高い関心事である。具体的な基準は、まだはっきりしていない状況と聞いているが、緩和措置をお願いしたい。
- ・ C A T Vの再送信に関しては、かなり民放各社のガードが堅いので、民放各社への指導をお願いしたい。また、C A T V事業においては、過疎地には民間事業者が入ってこないのが、どうしても行政が行う必要がある。そうなれば後々の財政の運営の問題が出てくるので、この点についても配慮願いたい。

## ②総務省

- ・ 合併特例債によるまちづくり基金の限度額の引き上げについては、他にもそのような意見を聞いているので、それらを踏まえつつ、よく検討してまいりたい。
- ・ 地域の特産物について、郷土料理とかが伝承されて、地域の食材を使って魅力のあるものをつくっていくような、次の世代へ継承するような仕組みづくりが大事だと思う。
- ・ 医師不足は、今一番の国全体としての大きな課題である。
- ・ 地域で必要とする医師はすべてを診察できる総合医であり、本当に高度なものは提携している中核病院に行ってもらおうということが大事である。今度の新臨床研修制度の中でそういう全般を診るような、地域医療に目覚める人たちが出てくればと思っている。
- ・ これまで自治医大が総合医育成の役割を果たしてきたが、引き続き総合医をできるだけ多く生み出すということが大事であり、総務省、自治医大とも関係が深いので、出来ることはしていきたい。
- ・ 財政健全化法については、新しく導入する連結実質赤字比率や将来負担比率といった指標の算定方法などについて鋭意検討しているところであり、地方団体の意見を聞きながら、年内に関係政省令を策定したいと思っている。
- ・ ブロードバンドの整備状況については、島根県では、県の取組が非常に進んでいるため、今のところロードマップでは2010年にブロードバンドサービスが10

0%提供できる状況である。島根県の特徴は、各市町村の取組が非常に意欲的なこともあり、ケーブルテレビの伸び率が非常に高い。また、ケーブルテレビは、地デジ及び高速ブロードバンド普及等々において山陰地方に非常に有益なメディアと考えている。

- ・携帯電話不感地帯ゼロの取組については、民間企業が提供しているものであり強制はできないが、国と自治体が知恵をひねり、支援策を充実させていきたいと考えている。事業者が鉄塔を整備するインセンティブを高めるため国の施策を充実し、不感地帯をなくしていきたいと思っている。
- ・外貨を少しでも稼ぐ取組を通じて、地域の人たちが自信を持つことが大事である。何か一つのことでも良いから、外貨を稼ぐような試みをしてみようという、その突破口が見つけられればなと思う。
- ・とにかく1次産業あるいは1次関連業のところが元気を出さないと、この中山間地域の問題というのはやっぱり解決をしないと思う。
- ・内閣府で構造改革特区だとか地域再生とかいろいろな仕組みがあるが、もっとわかりやすく一本化しようと思っている。そこで突破口をあけていくことも可能なので、ぜひここを変えてほしいということをいろいろ探して、指摘していただきたい。
- ・中山間地域の問題は、省庁関係なしで横断的にやっていかなければいけないという話があったが、福田内閣でこの問題に手をつけて、そういった省庁横断的な今までとは違うアプローチをやっぱり見せていかなければならない、そういう思いでこれから行政に取り組んでいきたい。
- ・医師不足も大変深刻な問題である。この問題については厚生労働省などとよく相談して、何かもっと前に進むようなことをやっていきたいと思う。

## 6 現地視察

### ① 飯南町「ぶなの里（道の駅とんばら産直市）」

国道54号線、「道の駅とんばら」に平成7年8月にオープン。

新鮮、安全、安心をモットーに、約100戸の地元農家が生産した野菜や果物などを販売している様子を視察。

### ② 島根県中山間地域研究センター

平成10年に、中山間地域の活性化に向けた積極的な取組を行うことを目的に設立。地域の諸課題の調査・分析、地域振興手法の研究・開発、農林業技術の研究開発を推進しており、最近の研究課題等について視察。

### ③ 邑南町上口羽<sup>かみくちば</sup>（川角地区<sup>かいずみ</sup>）の集落の現状

過疎化・高齢化が進む川角地区は、10戸の16人の集落。NPO法人と連携して進める地域づくりの様子を視察。

### ④ 邑南町上口羽<sup>かみくちば</sup>（川角地区<sup>かいずみ</sup>）の地域住民との意見交換（川角集会所<sup>かいずみ</sup>）

意見交換での主な意見は以下のとおり。

- ・雪かき等の負担が大きい高齢者のために、古い校舎や公民館などの遊休施設を活用し、冬季に短期滞在できる仕組みが必要。
- ・ボランティア活動中の事故等に備え、安心して参加できる保険制度が必要。
- ・生産意欲減退の原因となる鳥獣害の防止支援が必要。
- ・通院・買い物・家屋の補修・雪はね・草刈り等の生活支援が必要。
- ・上記事項も含めた様々な支援活動や、地域の住民サロンの経営、行政事務の代行など、ソフト面の取組を対象に、交付税で支援してほしい。

(以上)